



Sea Breeze 84 湘南学園は、創立84年です

あの思い出の部活動
【特集】新成人からのメッセージ
同窓会活動の1年

SEASIDE Web は、湘南学園同窓会で検索 <http://shogak-doso.org/>

とにかく世界へ！強い気持ちで自分を後押し Mai Takamizawa (高1983年卒)

夢溢れるLAでの仕事や生活 原点は英語に親しんだ高校時代

Maiさんは、音楽、撮影のコーディネーション会社をご主人と経営し、日本からレコーディングやCM、映画撮影などに来るアーティスト、スタッフの滞在を多方面から全面的にバックアップしている。そのきめ細かなケアは、多くのアーティストからの信頼も厚く、数々の作品を手掛け、楽曲の契約等にもかかわる存在だ。

海外への関心は、高校時代に始めたサーフィンが入口だった。あっという間にスポンサーがつく程の才能を発揮し、招待試合では外国人選手の通訳なども任されたが、得意だった英語で、会話が思うようにできず愕然とする。「サーフィンを通して世界を知ったんです。もっと勉強して視野を広げ、力をつけなければダメだと思いました」



学園卒業後、LAに留学していた兄を頼って渡米し英語学校へ。旅費をアルバイトで工面してから両親を説得したという行動派だ。学校も勉強も何もかもが楽しく、持前の積極性で周囲ともすっきり溶け込んだ。試験などをクリアし、3カ月ほどで大学入学許可を取り再度、事後報告的に両親にOKをもらった。ところが入学してみると、英語学校とは会話の速度も内容も桁違い。英語と大学の授業両方を必死に猛勉強という毎日が始まった。「本当に大変でした。クラスメイトの誘いも会話についていけないのが恥ずかしく断っていたら、誰からも誘われなくなり、勉強だけで暗くいつも一人ぼっちに(笑)」そんな自分らしさも自信も失い苦しんでいた時、隣の席のアメリカ人の男子に「オリンピックのスペルってなんだったけ？」と聞かれたことで、一気に何かが吹切れた。日本人の私に？しかもこんな簡単なスペルを？

「間違えたら恥ずかしいという気持ちが消えたら、英語力もぐんと上がり、自分を取り戻すこともできました」

兄と共に幼稚園から高校まで、生粋の学園っ子。

「幼馴染とずっと一緒に最高に楽しかった。両親の愛と音楽に溢れ、大家族の様にいつも人が集まっていた。それを受け継ぎLAの我が家も賑やかです。今後は、音楽や翻訳の他にまた映画やドキュメンタリーも作りたい！新たな出会いが自分の中の扉を開いてくれます」

これから留学を考えている後輩へのアドバイスは、「とにかく“恥”を捨てることですね。伝えたい気持ちがあれば、少々文法や発音が違ってても必ず伝わります。世界を見ることは素晴らしいことです。どんどん飛び出して色々な世界を見てほしいです」

Mai Takamizawa

1983年湘南学園高等学校卒業。サンタモニカカレッジ卒業後通訳として活躍。バイリンガルコーディネーターとして工藤静香、藤井フミヤ他多数アーティストのレコーディングをアシスト。2001年コーディネーション会社「Plenty」設立。クライアントにはPUFFY、奥田民生、矢沢永吉、小室哲也、浜崎あゆみ、長瀬剛、他多数。「硫黄島からの手紙」通訳チーム、桃井かおり主演監督「Hee 火」ミュージックディレクター等も務めた。2015年アメリカ市民となる。父はダークダックスの高見澤宏氏。

写真部OB会で繋ぐ「縦の絆」

昭和31年写真好きの4人が写真同好会を発足させてから、60年たつ今もなお写真部として活動していることは、嬉しいことです。

平成8年に数名の有志が写真部OB会を立ち上げ、同年第1回OB会を藤沢グランドホテルにて開催し、64名のOBが集いました。写真部OB会なのに、誰もカメラを持ってきておらず、“写ルンです”を買って、集合写真を撮ったのを思い出します。写真業界で活躍されているOB達は『仕事以外ではカメラは持たない』とのことでした。その時、4年毎にOB会を行う事を決めました。しかし、4年は長く、住所不明の方が増え、昨年6月の第5回OB会では連絡がつかない方が増え、参加者は25名でした。会場は古久家（卒業生の店）長後店2階スペース669にて行いました。4年のブランクはすぐに縮まり、仕事の話、孫の話、持ち寄った写真で盛り上がり、あっという間の3時間でした。今までは、昭和37年～47年卒のOBだけでしたが、今回54年卒の写真業界勤務の後輩が参加してくれました。今後は、若いOBにも参加してもらい、写真部の縦の絆を作って行きたいです。未登録の写真部OBの方は下記にご連絡ください。

higuchi-akihisa@roy.hi-ho.ne.jp

(幹事：小川、小堀、樋口、町田)



第5回写真部OB会（平成28年6月18日）



幹事代表 小川茂 高16年生（1968年卒）
（毎年8月に写真の個展を戸塚で行っています）

学園野球部がスタートした頃



昭和29年当時コーチを務めた町田さん（後列右端）と学園中学野球部員

学園野球部の発祥は、戦後間もない1948年秋、新設された中学校の、私達第1回生が中2の時であった。その年、藤沢市内中学校の野球大会が初めて開かれたが、私達は本格的練習を積んでおらず、大会には翌年は春からの参加となった。本格的なスタートは、父兄の飯島永彌さん（早稲田大学野球部OB）が監督に就任してからで、夏休みを含めての練習で力をつけた。1学年わずか30名の中から選ばれた選手で、体力的には必ずしも秀でていなかったが、中学3年の藤沢市の大会で、春は準決勝、秋は決勝まで進出した。特に秋は、その後プロで活躍した衆樹投手を擁し、負け無しの藤沢一中と対戦した。スコアは3対0で負けたが、結構接戦となり、忘れがたい試合となった。短期期間に戦えるチームになったのは、頻繁に行った鶴沼中学との定期戦の経験もあったのではないかと考えている。当時の主将宇佐原君は、その後、湘南高校で、衆樹投手とともに甲子園に出場したが、今のところ、学園唯一の甲子園球児ではないだろうか。

当時は、下級生も練習に参加し、鶴沼中学とは二軍の定期戦も組んだりした。また、私達が大学生の頃は、「SOB」とのチーム名で藤沢市民大会に数回出場した。詳しい記憶は無いが、現役の強豪中学生チームとの対戦では、練習をしていなかったにもかかわらず、快勝し、相手の監督から「あの投手は打てない」と言われたほどの下級生投手の好投があった。私たちが社会人になった頃、飯島監督を招いて、下級生を交えた集まりを催したが、その後は途絶えていた。ただ、最近再開し、昨年は、2年下までの下級生を含めた集まりを催した。

学園高校野球部は熱心に練習に取り組んでいる様子で、その努力に期待している。

町田芳章 小13回生・中1回生（1950年卒）

【特集】同窓生NETWORK 新成人（2017年）からのメッセージ



慶應義塾大学文学部
日本史学専攻3年
学園中高卒業
2013年度生徒会
副会長

おくつ まさき
奥津 正希
2015年卒



早稲田大学
商学部3年
学園小中高卒業

たなか くるみ
田中 来実
2015年卒



明治大学
法学部2年
学園小中高卒業

はぎわら いっしん
萩原 壱晋
2015年卒

寛同窓会会長と前川副会長が今年成人式を迎えられた奥津さん・田中さん・萩原さん3名の卒業生を同窓会室にお招きし、学園の生活を振り返りながら、学園の特色などについて話をいただきました。

一湘南学園の特色はなんですか？

萩原：団結の強さではないでしょうか。今の学園の制度だと、高校から入学する生徒はいません。中高では同じ人たちと6年間過ごせます。高校から入学する生徒がいると、どうしても仲良くなりづらかったりすると思います。6年間一緒に過ごすことで、より絆が深まったのだと考えています。

奥津：学園を卒業してから2年が経ち、色々な人と出会いました。そのなかで気づくことは、学園生は色々なバックグラウンドを持つ人たちを受け入れることが出来るということだと思います。たとえば、私たちは共学校の出身なわけですが、大学には男子校、女子校の出身の人がいます。それが各々の性格や考え方に影響を与える一因になっているのかもしれない。そのような様々な人たちの考え方を受け入れられる「受容力」は学園生には自然と備わっているような気がします。

私は中学から学園にお世話になったのですが、中学入学当初は学園小から進学してきた内部の人たちとどのように接したら良いのか不安でいっぱいでした。内部の人たちは親切

な人たちが多く、そのような不安はすぐに消えました。振り返ってみると、そこにも学園生の「受容力」が垣間見られたのだと思います。

萩原：逆に内部の人間からすれば、外部生はいわば得体のしれない存在でした（笑）。しかし色々話していくうちに自然と親しくなれたと思います。

一学園の良さの一つとして、内部の人と外部の人が上手く融合出来る雰囲気があるということがあるのでしょうか。これは、学園の「器（うつわ）」なのでしょうね。では、この「器」はどのように出来上がったと思いますか？

田中：先生が「あしなさい、こうしなさい」と口うるさく言うことが少なく、自主性が培われたことがあるのではないのでしょうか。とくに私たちは生徒会に所属していたため、そのような場で自分たちが企画立案し、自分たちでマネジメントしてきたことによって責任感が生まれてきたのだと思います。

一逆にどのような時に先生が入ってきた方が良いのですか？

田中：重大なこと、たとえば校則を変えようというような時には先生が入ってきた方が良いと思います。とは言っても、先生はあくまで指針やアドバイスをくださるので、自分たちが企画を進めることにつながりました。

一後輩たちはこれからどのような成人になってほしいですか？

奥津：もっと「先」を考えられる成人になってほしいですね。ここでいう「先」とは色々な意味合いがあります。ほんの一日、一週間先といった短期的な展望もそうですし、一年後、五年後といった長期的な展望をも考えられる人間になってほしいです。これは自戒の念も含んでいますけどね（笑）。

萩原：物事の裏側を見られる成人になってほしいです。例えば、一つの企画を運営するにしても、それを裏で支えている人たちがいるわけです。そのような裏側の人たちの苦労を理解できる人間になってほしいと思います。

田中：先のことも大切ですが、私は今を大切にしてほしいと思っています。学園は校則でアルバイトが出来ません。なので、その分部活動や勉強などに充てられる時間は長くなると思います。そのような今しか出来ないことを大切にしてほしいと思います。



左上より寛会長、前川副会長
左下より田中さん、萩原さん、奥津さん

★同窓会総会 2016・7・2（土）

11時より事務棟3階の大会議室で約30名が出席し、来賓(理事会、PTA、後援会、食育ラボ)と川井学園長(同窓会名誉会長)の挨拶に続き、寛会長の議事進行で各議案の審議を行いました。①2015年度の活動報告と決算、②2016年度活動計画と予算、③常任幹事改選の3議案とも満場一致で承認されました。2016年度活動計画では、①学年幹事・サポーターの増員と新世代補充、②松ぼっくりフォーラムの継続開催等を進めることになりました。



寛会長の同窓会活動・決算報告

★松ぼっくりフォーラム 2016・7・2（土）

同窓会総会終了後、1時30分より学園中高ホールで約70名が参加し、「ヨットに学び、ヨットを楽しむ」をテーマにPTAと協賛で講演会を開きました。



学園中高ホールでの講演



故 昇 隆夫さん
高1960年卒・第8回生



北川源太郎さん
中1958年卒・第9回生

訃報 昇 隆夫さん（平成26年11月に旭日単光章叙勲）は本年3月に急逝されました。心よりご冥福をお祈り致します。

2020年東京オリンピックのセーリング競技が地元江の島で開催されるのにちなみ、ヨットに係わってこられた同窓生をお招きし、昇隆夫さん（高8回生、神奈川県セーリング連盟副会長）と北川源太郎さん（中9回生、セイラビリティ江の島代表理事）からご講演をいただき、チーム湘南学園（学園・PTA・後援会・食育ラボ・同窓会）によるパネルディスカッションを行いました。ヨット部創設の提案や中学生からの感想などもあり、最後に川井学園長からまとめのお話がありました。

★学園祭 2016・10・1（土）& 2日（日）

同窓会は①思い出の遠足・修学旅行の展示、②海図教室、③ゲームコーナーの3つのイベントを行いました。同窓会調査部が各年代の同窓生の協力で集めた遠足・修学旅行の写真を日本地図と関連づけた展示は、来場の方々に懐かしく見ていただきました。



Our Historyの写真（思い出の遠足・修学旅行の地図を背景に寛会長以下作成メンバーの方々）



海図教室の伊藤等先生(高16回生、元学園非常勤講師)と参加者



カフェテリアでの華やかな歓談風景

学年幹事・サポーター会議 2016・11・19(土)

10時より事務棟3階の大会議室で約30名が出席し、榎本中高校長(学園長代理)の挨拶に続いて、①2016年度活動計画の進捗、②同窓会会則・細則の改定、③中間会計報告等を笈会長と常任幹事が報告し、最後に出席者全員から貴重なご提案・ご意見をいただきました。議事は予定通り約2時間で終了し、会場をカフェテリアに移し、昼食をとりながら懇親会を行いました。



★学園カフェテリアでの成人を祝う集い 2017・1・9(月)

今年は約70名の卒業生が成人式の日归母校を訪れました。成人の日晴れ姿で久しぶりの先生方・友人との再会はとても楽しそうでした。成長した教え子を見る先生方の眼差しはちょっとまぶしそうで、じつにうれしそうだったのが印象的でした。同窓会からお花と果物を贈り、祝辞を述べました。同窓会としては成人式の日归母校での再会をもっと楽しめる企画を考えていきます。

同窓会幹事懇親会 2017・1・28(土)

同窓会幹事の世代間の楽しい交流を促進させるための企画です。約20名が参加、和気あいあいとよきひとときを過ごすことができました。



懇親会での集合写真

同窓会では様々な活動を行っています。ここでご紹介した主な活動のほかに、同窓会室を使つてのスタンドグラス教室、キルト教室などではOG・OBの皆様がじつに楽しそうに活動しています。また同窓会報SEASIDEの発送業務(約1万人への発送)は年間行事になっており、幅広い年齢層の方々が手伝いに来て下さり、年に一度の交流の場にもなっています。さらに海外留学支援などに教育振興基金への毎年50万円の寄付なども行っています。どうぞ同窓会室のご利用、同窓会活動に一層のご支援お願いいたします。

★印のイベントは同窓会HPで詳しくご覧いただけます。

2020年東京オリンピック

セーリング競技江の島開催に向けて (No. 2) 幻の木造クルーザー『やまゆり』のご紹介



大島 義則

高1961年卒 (第9回生)
やまゆり保存会
湘南立教会副会長

今回は、1964年東京オリンピックセーリング競技の江の島開催に合わせて建造された、海外・国内来賓専用クルーザー『やまゆり』をご紹介します。

私は、この建造50年以上経つ木造クルーザー『やまゆり』の保存活動にあたっています。

横浜の岡本造船所で造られた幻の大型木造船です。



全長13.30メートル、25人乗り、昭和37年建造です。当時は華やかなスタートでしたが、木造船のため維持していくのは大変なことです。例えば毎年のメンテナンス、係留料、人件費などを含めると300万円程度かかります。そこで何とか維持管理ができるようにNPO法人を立ち上げ「江の島ヨットクラブ」から譲り受け現在に至っています。

現在400名ほどの会員の入会金・年会費によって運営されています。会員のメリットは週末に三崎、葉山、烏帽子岩などへのクルージングを満喫できることです。またお子さんや障がい者、シニアなどの皆さんを無料でお乗せする奉仕活動もしています。

皆さま方が少しでもこの素晴らしい木製クルーザーを理解して下さるようお願いいたします。

高9回生 大島 義則

リオデジャネイロ パラリンピック100m

8位入賞 アジア最速ランナーの特別授業が 学園小学校で実現！



高桑 早生 (たかくわ さき)

慶應義塾大学総合政策学部卒
ロンドン、リオデジャネイロパラリンピック
出場 100M13秒69 (左足義足)
日本・アジア記録保持者

昨年開催されたりオデジャネイロパラリンピックで100メートル決勝に出場された高桑さんがご来園、小学2年生に向けた特別授業を行ないました。

高桑さんは児童たちに、13歳の時にご病気で片足切断の手術をなさったことや、片足を失ってから現在までの生き様を語られました。

また、ご自身の競技用義足を子どもたち一人一人の手に触れさせ、クラス分け等のパラリンピックの特性、体験、エピソードなどを含め、“夢を持つこと、夢に届くために毎日、今日は何を努力すべきか”について、さわやかに、そして熱く語っていただきました。

「2020年東京パラリンピック100m金メダルの夢の実現が新たな目標」と話され、1時間を超えるお話は教育上大変意義のある感動的な授業でした。

当日は小学2年生全員、保護者、川井学園長、寛同窓会会長などが出席し、皆さまを代表して寛会長から高桑さんに感謝の花束を贈呈しました。

この企画は同窓生の木村孝さん(小23回生・1957年卒)が2年生担任の高橋慎司先生にご紹介し実現したものです。同窓会では今後も、生徒さんたちに役立ち、将来の指針となるような企画を催していきたいと考えています。

同窓会副会長 前川 力(高9回生)



寛同窓会会長よりお礼の花束贈呈



湘南学園 学園長
湘南学園同窓会 名誉会長

川井 陽一

「ヒューマンサイズ」の学校

卒業生の方が「湘南学園」という言葉を口にされるとき、皆様誰もが温かな笑みを浮かべられ、少し誇らしげなお顔になる。そして、お仲間の名前や恩師の先生のお名前を口にされる。私が多少のうらやましさも覚えながら常々感じていることである。

もとより、誰にも母校があり、仲間があり、恩師がいる。そして、誰もが、母校や仲間や恩師にそれぞれの思いをもっているであろう。しかしながら、湘南学園卒業生の方々の学園への思いは濃密で、それぞれの方々の人生にも深く関わっていると感ずることしばしばである。

学園中学校一期生の鈴木健次氏が大正大学を退職された際に編まれた『西巢鴨十五年（鈴木健次教授 退任記念文集）』の中に、「ヒューマンサイズ」という言葉が出てくる。

鈴木氏が大正大学に江藤淳氏を招聘された折、江藤氏がキャンパスを眺め「ヒューマンサイズがいいですね」と言われたという。鈴木氏は、江藤氏の言葉を受けて、ご自身の学びの場や仕事の場を思い出とともに記されているが、その中には湘南学園も登場する。

もちろん鈴木氏は、学園を「ヒューマンサイズ」ととらえられている。

「ヒューマンサイズ」の学校。「ヒューマンサイズ」という言葉には、「サイズ」だけではなく、その学校の雰囲気さらには立地までもが含まれており、鈴木氏も江藤氏もそう思われているに違いないと私は考えている。鈴木氏が学ばれた頃に比べ、学園は「サイズ」こそ大きくなったとは言え、「ヒューマンサイズ」の学び舎と今なお呼べる学校であると感じている。現在学園に学ぶ子どもたちが、何年か後に、あるいは何十年か後に、温かな笑みを浮かべ、少し誇らしげな表情で学園の名前を口に

そのためにも現在の学園づくりが大切であると考えている。

私が敬愛する今道友信先生が「ヒューマン」について記された文章がある。今道先生とは学生時代に学外のあるドイツ語教室で警咳に接し、その後人生の節目のような所で貴重なご講演をお聴きし、またお亡くなりになる少し前に国際文化会館での会合で同じテーブルになり、その折、先生からご著書をいただく等々、忘れがたい思い出がある。

今道先生は、『西欧精神の探究』の中で以下のように述べられている。なお、この本は日本放送出版協会の本であり、ここでも鈴木健次氏につながるのは不思議なご縁である。

「『ヒューマン』であるとはどういうことか。ひと口で申しますと『言語を理解する』ということ。言語を理解するということは、また言語が書物において結晶された形の書物を重んじ、そこに書かれた知識を研究することにも通じます。こういうことは他の動物にはなく、したがって人間的だということになります」

「ヒューマン」であるためにはしっかり勉強せよと言われているということであろうか。そのことも含め、湘南学園が「ヒューマンサイズ」の学校であり続けるために、同窓会の皆様には、引き続きのご支援とご鞭撻を切にお願い申し上げたい。



学園長室にて

2017年度同窓会総会 招集のご案内

2016年度 収支決算報告(案)

第1号議案資料

2016年度 収支決算報告(案) (2016.4.1~2017.3.31)

湘南学園同窓会正会員各位

湘南学園同窓会会長 筧 元則

同窓会の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会の活動にご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の総会を下記の日程にて開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようにご案内申し上げます。

記

日時：2017年6月24日(土) 午前11時より

場所：学校法人湘南学園 中高ホール

藤沢市鶴沼松が岡4-1-32

議題：第1号議案 2016年度活動報告ならびに
収支決算報告書承認の件

第2号議案 2017年度活動計画ならびに
収支予算書承認の件

第3号議案 会則改定の件

総会後はカフェテリアで懇親を兼ねたランチをお楽しみいただき、当日の午後に開催されます第7回「松ぼっくりフォーラム」にも是非ご参加ください。

収入の部	予算	実績	差異	備考
前期繰越金	6,308,353	6,308,353	0	
入会金	1,020,000	1,064,460	44,460	高校176名・小学校3名
年会費	1,500,000	1,454,000	▲46,000	注1
前受年会費	190,000	464,000	274,000	注2
寄付	100,000	169,000	69,000	
広告料	100,000	100,000	0	
雑収入	10,000	109	▲9,891	
収入合計	9,228,353	9,559,922	331,569	

支出の部	予算	実績	差異	備考
松ぼっくりフォーラム	100,000	57,303	42,697	
学園祭	200,000	166,254	33,746	
その他	100,000	0	100,000	
事業部計	400,000	223,557	176,443	
SEASIDE発行費	1,400,000	1,344,206	55,794	印刷代及び郵送料
ホームページ関連	100,000	65,124	34,876	
取材費	50,000	8,600	41,400	
広報部計	1,550,000	1,417,930	132,070	
資料作成費	50,000	0	50,000	
資料部計	50,000	0	50,000	
卒業記念品	165,000	173,845	▲8,845	
事務費	130,000	62,654	67,346	
会費等受取手数料	100,000	51,506	48,494	
通信費	120,000	123,474	▲3,474	電話代41,592円(1年分)
会議費	180,000	139,661	40,339	
交際費	70,000	48,680	21,320	
慶弔費	100,000	8,547	91,453	
雑費	10,000	0	10,000	
総務部計	875,000	608,367	266,633	
設備費	100,000	0	100,000	学園サーバー接続費
寄付金	530,000	520,540	9,460	教育振興基金他
支出小計	3,505,000	2,770,394	734,606	
次期繰越金	5,723,353	6,789,528	1,066,175	
支出合計	9,228,353	9,559,922	331,569	

注1 年会費の内訳(2千×402名、終身1万×33名、終身2万×16名)
注2 5年一括払いの内、4年前受58名分
次期繰越金内訳(横浜銀行1,654,421、郵貯5,116,700、手持現金18,407)

同窓会費納入のお願い

昨年度会費をご納入いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

同窓会の活動は卒業生の入会金と会員の方々の年会費で賄われており、今年度も会費の納入をよろしくお願い申し上げます。

■会費の種類：

- ・年会費は2,000円です。
- ・5年一括払いは10,000円です。
- ・終身会費は66~70歳の方は20,000円、71歳以上の方は10,000円です。

■会費の納入方法：

- ・郵便局振込：SEASIDE同封の振込票(振込料無料)をご利用ください。

(口座記号番号：00230-2-75579)

加入者名：湘南学園同窓会)

同窓会室のご利用方法

カフェテリアの奥にある同窓会室は15名程度まで利用できます。

■利用可能日：学園事務局休業日以外は原則として利用できますが、先着順となっております。

■利用申込：申込用紙に記入し、同窓会事務局に申し込んでください。

- ・Tel & fax：0466-29-3669
- ・〒251-8505 藤沢市鶴沼松が岡4-1-32 湘南学園 同窓会
- ・Eメール：info@shogak-alm.com

■申込用紙：下記で入手できます。

- ・同窓会HPから印刷
- ・同窓会事務局(同窓会室)
- ・湘南学園法人事務局

■定期開室日：毎週、土曜日の10:00~12:00は当番が常駐しています。(祝日と学園事務局休業日は除く)

行事予定・学園人事

■同窓会行事予定：

- ・6月24日(土)2017年度同窓会総会 第7回「松ぼっくりフォーラム」『やさしい航海用海図の世界』伊藤 等先生(高16回生)
- ・9月30日(土)~10月1日(日) 中学園祭で同窓会展示
- ・11月(予定)学年幹事会

■学園人事：(敬称略)

理事長：河野 重男
学園長：川井 陽一
中学校長：榎本 勝己
小学校校長：河本 洋子
幼稚園園長：古田 優子
法人事務局長：清水 利明
PTA会長：近藤えり子(新)

SEASIDE Web は、湘南学園同窓会で検索 <http://shogak-doso.org/>